

和光市総合振興計画審議会第3回会議（全体会） 会議要旨

開催日：平成24年6月28日（木） 午後4時00分～5時30分

開催場所：和光市役所602会議室（市役所5階）

出席者：花輪宗命会長（4号委員）、関口泰典副会長（5号委員）

2号委員（和光市農業委員会の委員）加藤親次郎

3号委員（市内公共的団体等の役員）山田智好、佐々木元子、松田廣行、
金子正義、野宗玲子

4号委員（知識経験を有する者）穴戸博

5号委員（公募による市民）梅沢直、藤川和孝、泉常夫、松永靖恵
（欠席：5名）

次第：1 開会

2 議事

(1) 各部会からの報告

- ・ 安全部会 4施策
- ・ 安心部会 5施策

(2) 重点プラン対象施策以外の外部評価について

- ・ 部会設置について
- ・ 評価対象施策について
- ・ 今後の会議スケジュール及び外部評価の進め方について

3 その他

- ・ 次回の会議日について

4 閉会

1 開会

事務局

ただいまから「和光市総合振興計画審議会第3回会議全体会」を開会します。

本日の会議には、13名の方が出席しており、総合振興計画審議会条例第7条第2項の規定に基づき、過半数以上の委員の方が出席しているため、会議は成立しています。

なお、本日の会議は、市民参加条例に基づき、公開とし、傍聴を設けています。

全体会では、各部会の報告と、今後の進め方について確認していきます。

2 議事

(1) 各部会からの報告

安全部会（4施策）

ア 施策1 中心市街地にふさわしい駅北口周辺の整備

金子部会長

8人で評価し、評価点数は70点でしたので、評価結果は「妥当ではない部分はあるが、どちらかというところ適正な評価が行われている」でした。部会の意見としましては、「計画に基づいて着実に進めるために、市街地にふさわしい駅北口土地区画整理の

まちづくりの計画を早急に作成すること。その計画の中に、駐輪場などの具体的な市民の意見を盛り込むこと。」となりました。また、報告書とは別に、委員の皆さまのご意見を付すこととなりました。

イ 施策 6 安全で快適な道路の整備

金子部会長

8人で評価し、評価点数は71点でしたので、評価結果は「妥当ではない部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われている」でした。部会の意見としては、「財政状況が厳しい中、ハードだけではなく、ソフトの面においても維持管理等に工夫をし、可能な場面では市民参加の手法も取り入れながら、道路の安全を確保すること。なお、道路の維持管理においては、緊急性のある補修などに対応できるように予算の確保をすること。」となりました。また、施策1と同様に皆さんのご意見を付しております。

ウ 施策 48 防災体制・消防支援体制の強化

金子部会長

7人で評価し、評価点数は60点でしたので、評価結果は「妥当ではない部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われている」でした。部会の意見としては、「市の体制はもとより、特に地震における初期防災については地域の防災体制の組織強化が基本であり、重要である。」となりました。

エ 施策 55 地球温暖化対策の推進

金子部会長

7人で評価し、評価点数は65点でしたので、評価結果は「適正な評価が行われている」でした。部会の意見としては、「市民の身近な省エネ対策の一層の努力を望むとともに、また、本田技研、理化学研究所などの日本を代表する企業、研究所との連携を和光市の特性として生かし、地球温暖化対策を図りたい。」となりました。

安心部会（5施策）

ア 施策 15 地域と連携した教育の推進

花輪部会長代理

7人で評価し、評価点数は66点でしたので、評価結果は「適正な評価が行われている」でした。部会の意見としては、「施策における指標について、目標値の設定に妥当性があるとはいえない。実績値を考慮した、より高い目標値の設定を行うべきである。」となりました。

イ 施策 20 小中学校の配置・規模の適正化の推進

花輪部会長代理

7人で評価し、評価点数は59点でしたので、評価結果は「妥当ではない部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われている」でした。

部会の意見としては、「施策の指標について、小学校、中学校ともに平均された人数となっているため、学校において偏りがあるかどうか判断することが難しい。例えば人数の多い学校と少ない学校の差を指標とするなど、施策の目的や課題等を表すような指標とするべきである。学校選択制の取組、新設校建設の取組ともに、施策評価表において具体的な取組、課題等が明確に評価されていない。特に新設校建設など長期的な取組においてこそ、しっかりとした短期（単年度）目標と評価が必要である。ま

た、取組の結果等を明確にした上で、課題等に対する解決策を見出すべきである。」となりました。

ウ 施策36 高齢者の生きがいと社会参加への支援

花輪部会長代理

4人で評価し、評価点数は36点でしたので、評価結果は「妥当ではない部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われている」でした。部会の意見としては、「施策評価表の取組内容の評価の欄において課題等が明確に記載されていないため、内部評価が適切に行われているか疑問な取組がある。目的達成のために適切な取組を行っているならば、未達成事項・課題についてもしっかりと内部評価し、明確にするべきである。」となりました。

エ 施策32 多様な保育サービスの推進

花輪部会長代理

4人で評価し、評価点数は35点でしたので、評価結果は「妥当ではない部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われている」でした。部会の意見としては、「新たに保育園を開設してきたが、待機児童の解消に至っていない現状にある。今後においても新たな保育園の開設を目指すことを踏まえて、待機児童の解消に努めること。」となりました。

オ 施策50 コミュニティづくりの推進

花輪部会長代理

5人で評価し、評価点数は42点でしたので、評価結果は「妥当ではない部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われている」でした。部会の意見としては、「自治会の機能として、従来の行政のパイプ役としての役割から、コミュニティづくりに変化しつつある。このことから、従来の取組のみならず、和光市の特徴、特色である若い人たち(世代)を対象とした取組に力を入れなければならない。既存の目標値について再度検討すること。また、自治会の加入率を考えるならば、新たな自治会の設置数なども目標値として加えること。」となりました。

カ 報告のまとめ

花輪会長

この報告書を持って、中間報告として、市に提言させていただきます。書類の若干の修正は事務局に一任いたします。

(2) 重点プラン対象施策以外の外部評価について

部会設置について

ア 事務局説明

事務局

資料2に基づき説明。

イ 質疑応答

質疑なし。

ウ 結論

事務局の提案のとおり、重点プラン対象施策以外の外部評価について、安全部会及び安心部会の2部会で行い、それぞれの評価対象については、安全部会が基本目標

及び、安心部会が基本目標 及び に位置付く施策とする。

評価対象施策について

ア 事務局説明

事務局

資料 3 に基づき説明。

イ 意見交換

花輪会長

基本目標ごとに評価対象施策を検討していきたいと思います。まず基本目標 ですが、施策 2、3、4、5、7 が仮として上げられていますが、安全部会の方、何かご意見がありますでしょうか。

関口副会長

今回、仕事の進行状況が進んでいないというものも評価いたしました。できるのであれば、完成度に近づいているものを先に評価したいと思います。

金子委員

内容的には、比較的に関連性がありますので、ご提案のとおりで問題はないと思います。

藤川委員

各基本目標から均等に 5 施策選ばなくてはならないのでしょうか。例えば、基本目標 から 6 施策評価し、基本目標 から 4 施策を評価するといったことは可能でしょうか。

花輪会長

そのようにすることもできますが、そうした場合は、次年度以降に調整していくということでもよろしいでしょうか。

事務局

はい。花輪会長がおっしゃる通り、必ず、基本目標ごとに均等に選ばなくてはならないという訳ではありません。ただし、3 箇年で全施策を評価することを前提とします。

藤川委員

安全部会では、今回評価した施策は、まちづくりの関連施策が中心となっていたわけですが、基本目標 4 の施策 5 2、5 3、5 4 は、まちづくりとの関係性が低いものも含まれていると思います。逆に、施策 9、施策 5 6の方がまちづくりとの関連性が高い施策として、横断的に評価した方がいいのではないのでしょうか。緑地に関連するものは、今年度足並み揃えて評価できたらと思います。

金子委員

水関係の施策を評価するとなると、施策 1 2 など公共下水道の施策などもあります。確かに藤川委員がおっしゃるように、施策 5 3、5 4 の消費者保護や相談の施策については関連性が外れていますが、バランスを考えて、先ほど提案の施策で問題ないと発言しました。ですので、弾力的に考えてもいいかと思います。

関口副会長

施策 5 2 は来年循環バスの運行体系の変更があるので、このような近々に変わりそうなものは避けたほうがよいと思います。

花輪会長

施策52、53、54を対象から外すという意見ですが、それでよろしいでしょうか。それでは、その分3施策を対象とするものは、どういたしましょうか。施策9、56、また水関連の施策を加えるという意見がありましたが、ご意見ありますでしょうか。

金子委員

施策9は都市計画と関連がありますので、施策9を後にして、施策11、56、57を加える方法もあるかと思います。

関口副会長

施策11は上水道ですが、施策12が下水道となっていると思います。

金子委員

湧水と緑地というと、上水道の方と関連があるかと思います。

花輪会長

基本目標 では、水との関係性で施策11を追加し、また基本目標 では、施策52、53、54を除き、水関連ということで、施策56、57を加えるということよろしいでしょうか。

安全部会一同

承認。

花輪会長

続きまして、安心部会の評価対象について、ご意見を伺います。基本目標 の対象案の施策5施策については、学校教育関連があるかと思います。今回の2回の部会では保育や子育てに関連する施策を評価しましたが、例えば、施策21は幼児教育の機会の支援でして関連性があると思いますが、いかがでしょうか。

野宗委員

学校関係が集中しているテーマになるかと思いますが、近いテーマがいいのか、それともばらけたテーマがいいのかという点が気になりました。どういう評価をしていくのかということに関係すると思います。私としては、学校よりも幼児といったところに関心があります。

花輪会長

野宗委員は、子育てネットワークというNPOに参加されておりますので、幼児というテーマに関心あるかと思います。また、本日いらっしゃらないですが、安心部会には森田委員がいらっしゃって、森田委員は教育委員会と関連があるので、森田委員のご意見を聞きたいところではあります。佐々木委員はいかがでしょうか。

佐々木委員

私自身は、生涯学習に関連がありますが、教育となるとまず幼児教育から始まるかと思うので、幼児教育の施策から評価を進めていくのがいいのではないかと個人的には思います。

花輪会長

施策21施策を加えるということであれば、1施策除く必要がありますが、いかがいたしましょうか。

佐々木委員

施策17「放課後児童の居場所づくりの推進」については、評価にAとあり、かなり充実していると思われるから、評価のタイミングを先延ばしにしてもいいのではないだろうか。

花輪会長

それでは、基本目標 については、提案の5施策のうち、施策17を削除し、施策21を加えるということによろしいでしょうか。

安心部会一同

承認。

花輪会長

基本目標 について、ご意見を伺いたいと思います。施策33、34、35は今回評価した施策と関連があるかと思います。高齢者の関連でいきますと、施策37、38が、今回評価した施策と関連があるかと思いますが、事務局提案のとおりでよろしいでしょうか。

野宗委員

この内容で、いいと思います。ただし、介護予防と介護サービスについては、評価がAとなっていて、充実していると思われるので、すぐに評価する必要はないのかなと思います。一方、施策39「チャレンジドが安心できる生涯福祉の推進」と施策41「低所得者の生活の安定と自立への支援」の評価が低いため、課題を含んでいると思われるため、優先して先に評価した方がいいのではないかと感じました。

花輪会長

施策37、38を除いて、施策39と施策41を追加という考え方はいかがでしょうか。

穴戸委員

A、B、Cという評価があって、課題があるものを先に評価すべきという考え方もありますが、逆にすでにAになっているものはやめるという提案をするという考え方もあると思います。

花輪会長

様々な考え方があるかと思いますが、施策37、38を除き、施策39と施策41を追加することによろしいでしょうか。

安心部会一同

承認

ウ 結論

安全部会の今年度の評価対象については、施策52、53、54を対象から外して、水関連として施策11、56、57を加え、基本目標 は6施策、基本目標 は4施策を評価することとする。

安心部会の今年度の評価対象については、提案の施策のうち、施策17、37、38を対象から外して、施策21、39、41を加え、基本目標 は5施策、基本目標 も5施策評価することとする。

今後の会議スケジュール及び外部評価の進め方について

ア 事務局説明（今後のスケジュールについて）

事務局

資料4に基づき説明。

イ 質疑応答

藤川委員

第4回会議から第6回会議の部会の中10施策評価するというのは、問題ないかと思えます。ただし、1施策の評価時間を十分にとってほしいです。今回の評価では、時間が全く足りない状態で、聞きたいことも聞けず、評価したということでした。もし1回の会議の時間がそんなにとれないのであれば、十分な評価ができるように、会議回数を増やすなど検討していただきたいです。

花輪会長

次の議題であります「外部評価の進め方」について、今回の重点施策との評価と変えて、書類に基づいた評価を事務局はお考えとのことですが、外部評価の進め方について、事務局ご説明をお願いします。

ウ 事務局説明（外部評価の進め方について）

事務局

資料5に基づき説明。

エ 質疑応答

花輪会長

質疑の時間が足りないという意見でしたが、事前に質問を出す時間を長くとり、それに対して事前に回答をすることで評価に望んでいただくということです。所管課への質疑応答はないですが、事前の回答を踏まえて評価していただくという前提でいかがでしょうか。

泉委員

事前に提出した質問書に対する回答はいつごろになりますでしょうか。評価当日の何日前に回答書が届きますでしょうか。

事務局

例えば、月末会議ならば、月の頭に資料を配付して、2週間程度質問提出の期間を設け、会議1週間前頃に質問の回答をする考えでいます。

藤川委員

書類審査でやってやれないわけではないかもしれませんが、今回の評価では、事前質問して回答いただいても、それに対して再質問が来ました。事前に回答いただいたことについて、再質問できるような便宜を図ってほしいです。なおかつ、それでもよく分からないことに対して質問したいと思いますので、事務局がよく勉強して回答していただければと思います。

再質問できるように、日程は余裕を持って組んでいただければと思います。我々が、事業を理解することが重要でありますので、優先していただきたいと思います。

関口副会長

評価当日の2「事前質問に対する説明」と3「評価シートの記入」は事前にできないでしょうか。評価当日に事前質問に対して回答いただく時間や評価シートに記入する時間が結構かかりました。この部分を事前に行って、あらかじめ自分の評価をある程度固めておいて、4「各委員評価の紹介・意見交換」以降を当日重点的に行うというのいいのではないのでしょうか。

藤川委員

関口副会長の意見に賛成です。書類で審査するというのであれば、再質問までさせていただければ、それで評価できてしまいます。当日自分の評価を持って参加できるので、それがいいのではないのでしょうか。

関口副会長

部会によって進め方は違うかもしれませんが、安全部会はこの方法で、安心部会はこの方法という可能性もあります。

例えば、安全部会では今回評価の時間が足りませんでした。行政が評価した施策を評価するということが目標でしたが、事務事業まで踏み込んだということが、長くなった原因だったと思います。

金子委員

今回評価した中で、施策の課題と定量的な評価、定性的な評価、総合評価及び今後の施策の方向性について、それぞれ記載されている内容がばらばらでした。施策の課題に対する内部評価の記載がまったくない状態で、施策として評価することが難しい状態でした。ですから、話し合いの中で論点を探る必要があり、今回時間がかかってしまったと思います。

総合振興計画に記載されているものを、施策評価表にどういう状況か評価内容が記載されるようにしないと、資料のみで審査するのには、足りないのではないかと思います。

すでに計画の達成度について、記載されていますから、定量的な評価については、「いい」「悪い」とは言えません。ですから、評価は本来「3 妥当性あり」の評価結果にならなければならないはずです。しかし、中の文章を読んでいくと、事業の状況について書かれていることがあって、それについて定量的評価がないという矛盾した状況があり、議論に時間がかかりました。もちろん問題点はいろいろありました。

花輪会長

重点プランではないとはいうものの、過去2日間の経験で懸念されるということだと思います。事務局いかがでしょうか。

事務局

評価自体も今年から、新しいシートで評価した関係で、整合性がとれていないところもありまして、その整合性がとれていないというご指摘も外部評価の一部ではないかと思えます。施策の概要の説明については、今回は施策評価表を読むだけの説明になっていましたので、それは早い段階で資料をお配りして、分からない点については、事前に質問をいただき、回答するという形で検討したいと思えます。

花輪会長

藤川委員のおっしゃるとおり、やってみないと分かりません。再質問などもいらない可能性もあるかもしれませんが、関口副会長のおっしゃるとおり、事前に評価結果を作っていただいくというのがいいかもしれません。また、このような進め方では足りない施策については、所管課にご出席いただいて、臨機応変な形で進めてほしいと思います。この方向で、事務局で検討してほしいと思います。

ウ 結論

事務局

事前の資料配付やその日程的に余裕を持たせ、再質問等についても検討し、また、当日資料説明に時間をかけず、審議に時間をかけたいと思います。ただし、各部会で対象の施策が10もあり、担当により説明する機会を設けることは、時間やスケジュール、評価に対するコストなどから難しいと考えています。どうしてもというものがあれば、事業課と調整を取りながら、検討したいと思いますが、原則的には書面による審査評価を行いたいと思います。

3 その他

事務局から、次回の会議の日程について事務連絡を行った。

4 閉会